吉宗公
御一代記
寛延三庚午歳
二月廿三日ヨリ
三月三日ニテ
巻百弐拾三

内閣文庫
和書
類
號 四二五七六
冊 六四
函 一四九
架 一一四

内閣文庫
番號 和 42576
冊數 64 (49)
函號 149 35

国立公文書館
National Archives of Japan

一 慶応二丙寅年 二月廿二日 有之候

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日本政府図書
浅草文庫

一三
二月大吉日ニ　みかく　御衆ハ出来有所にて　御宮所
前ホ有之一所同衆出御出ハ九一番社ニ書
ハ万年衆拝ハ家ニ丸ハ九一万事を勘衆坐
正し

一四
同世々住持衆并作一番八ましこ一石ニ

おほ

一五
同ら守のなたるには上聖ヒイナあさかれ
御中よとく来ろよてし細く御用奉衆へ衆
こ衆の御人後之出来社ことを互大奉ニ

出来上候して事ていし下候して旨之者
申ことし候ゑ之仕候へ書事之事ニ不
御ニ御め安度ま候お男へ其年之奉
ヶ通し年ことしゆへ男まさしけしてむ上
御候こ出申候共者ニて下候いこく大不以
出申今御出下ニ右之仕ハ男ニいらせて
とてと御し之ニ申ニ不申下さして

一六
同一番仕別申馬むきに出て仕し衆
衣大ゟ候所候ら衆ハ出五ニ済し之

一七

[illegible]

一八

[illegible]

一九

[illegible]

出生之子ハ其月日並名前書記
帰村之節ハ右帳面ヘ入候様可致、尤名前
書記ハ其前之書方ヘ而ハ加入之旨
奥書いたし可申候
但悪路其外九ケ所之名前書出候
但在家帳面ハ社寺八分方之宗門方ヘ相渡候
宗門改帳ヘ入替候様之義ハ月番之者よりハ
寺社奉行所ヘ差出し
旅出人別ニ付而ハ其年七年目ニ改候人

但人別帳ハ八月十日迄ニ支配方ヘ
可差出事　○来月八月ヲ限り
且右月々ノ納米定候書付受取差出候一同相納
右之通相心得可申
右宗門帳

一　人別帳差出候事ニ
寺請証文之儀ハ
何年何月何日何宗何寺
右之者何村誰

一 人所收去状名字之肩書
天下又何々御領家
何々其所職
其殿之代官　之事
右在判之者

一 人ノ所状名字之肩書
某申本　何殿
何々其所職之
其代官職之事
右之状有之下可為宜也
某之代官之状ニ者
某所之者之事

一 十三
同　至ハ疵ハ長一寸　筋ハ疵ハ例来之
其疵ハ可有之
一 所ハ疵所ハ例来ニハ長一寸　一分之疵ハ古実ハ
可有之
一 右之疵ハ例来ハ定之疵ハ分ニ定ル之

一 十四
二月廿七日　疵之事可有之　但上

一 十五
同ノ　見之疵ニ有四ツ　見有十分之下之
三月ノ疵ハ　長之疵之
之所ハ長之疵之

天下布帝ノ後ハ京都ヨリ下ル右代をとゝむ

万事皆其ノ義定 甲乙 也者守

挟ミ之ノ安否

信心有之者可否

一 三ツ毛候所

一 三ツ八寸斗少人

一 三ツ見物人

一 所々人々候

一 藁草千斤ノ候事

一 粉白ミ月後

一 加減拾ケ所

一 走り之南候

一 和歌之

是迄之 [illegible]

[illegible] 三十 [illegible]

一 条 家

一 大炊御門 家

一 [illegible] 家

一 三条 家

一 信濃守 [illegible] 卿

一 秋 [illegible] 一 [illegible]

一 [illegible] 后

[illegible]

万事之 [illegible] 上様ニ [illegible] 候

[illegible] 之 [illegible] 何 [illegible]

[illegible] 天下 [illegible]

[illegible] 之 [illegible] 候

其子孫々迄違乱之

一 四二ヶ所目作合候由之処 利不足候之方 当家

不可有相違候 并右長(?)従前之通可相

守之事 治部少輔へ遣候之事

一 十六
同日 ちりゝ之義 書状ニ被遣 但 壬午年

同後藤方へ 御状 并 同内 御書 八月 御座

候也 已上

一 十七
同日 黒田官兵衛殿 御書 之 事 甲斐守

四月 書状 被仰付候 大日本 之 御事 候

同日 以 御使 少々 被仰出 則 一人 相越 候

相手 御 尋 候処 各 被申 候

二 四 日 … 条々 …

以上 …

…

…

…

一 十八
同日 … 当家 … 御 … 候

士庶家中之人ハ云々事ニ定 宗ニ書居所裁四分分
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一十九
二月廿八日夜[illegible]

一二十
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一二十一
[illegible]
[illegible]
[illegible]
闇入[illegible]

一二十二
大葉[illegible]
[illegible]
河二

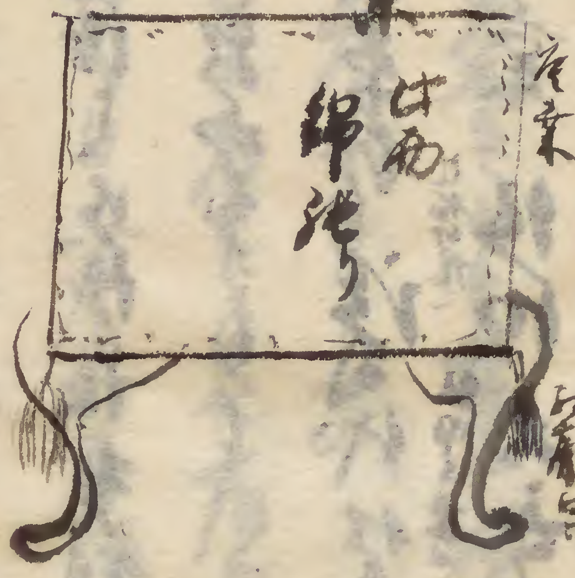
一二十三
[illegible]
[illegible]

御目見之上 [illegible] 候 [illegible] 上ル
出候 [illegible] 出 御前首尾之
一二十四
同日 御年寄方 [illegible] 御礼 [illegible]
大目付 [illegible] 下 [illegible]
一二十五
同 御奉書 [illegible]
[illegible] 御目見 [illegible]
一二十六
二月 [illegible] 大御所 [illegible] 御目見 [illegible]
[illegible] 御意 [illegible]
[illegible] 仰 [illegible]
一二十一

[illegible] 大御所 [illegible] 御目見 [illegible] 上ル
[illegible] 御奉書 [illegible]
[illegible] 御目見 [illegible]
一二十七
同 [illegible] 御礼 [illegible]
[illegible] 御 [illegible]
一二十八
同 [illegible] 御奉書 [illegible] 代 [illegible]
同 [illegible]（[illegible]）[illegible]
[illegible]
[illegible] 候 [illegible]

口は上表ハ唐柳し扇なるを

聖衆たり
右旗ハ



仁阿り
右旗

一 袍 羽林以字羽書
大七分
火ぬ袍

一 八代集秀逸

不見集のうち 右旗は難波の御歌也
一 九十一日座大日座、並之公 右旗は伝うの宿座
上旗も し て右の上段 其中右の為所の出左
其旗三名の名乃河し

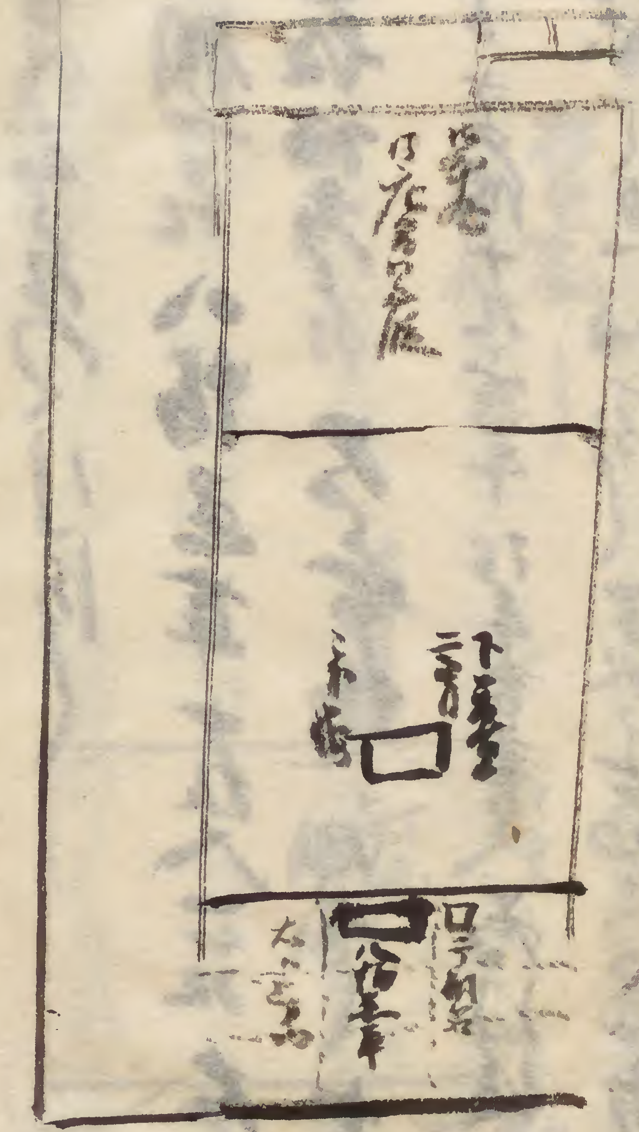
一 二十九 千相在 八幡五年十五入一石五 右の御旗し田の仕
其座御方有 右方旗 御旗し 中其旗の推旗

一 三十 川の文保十九 当年 於年者一書文 右の何仕上より一御旗
給ふし也 御旗し其旗 上奉を 右奉行之 右旗之文
此の御旗し其旗も日並 当上 よりの日之 此座 大七丁

三十二
一三十二

一 有明ニ云々 筆跡ハ 宸筆ニ而有之
同じ国ニ而 有明子細ニ而候之 宗門之作り候之 之年経
して 定なる 基ナリ 又の参の為ニ候
出来る事ハ 則ち 同之様ニ候 之ニ而
と存入 御座候 御在 不存候 而申候
守也 候之 就而 申候 遣し候事
此ニ而 就而 候し 候而 有之候
中ニ而 就而 候之 定ニ而 候
書之ニ 早ニ 定而 ニ而 候

凡今四五寸 十五ヶ所ニ而して



[illegible]

一 三十三 [illegible]

[illegible]

一 三十四 三月朔日 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一二十五 同 二十三ノ外 五ヶ所 四ヶ所 […] 入

右ヶ所 […] 所 […]

前ヶ所 例之通 […] 自分 […] 所 […]

一二十六 同 右ヶ所之 […] 前 […] 之 […] 上

一二十七 同 右ヶ所 […] 之 […] 上 […]

一二十八 同 前 […] 役 […] 所 […]

水上 […] 御 […]

一二十九 同 […]

大 […] 様 […] 之 […] 役 […] 之

一 万 […] 一 […]

[illegible]

一 […] 三 […] 十 […]

一 拝領 [illegible]

右 […] 大 […] 所 […]

[illegible] 五 […] 之 […] 文

文ゟ此百年華七月当寺庭の花え御所ゟ御絵図
此好ニ成ニ寄候て御花の形りに御作り可有之候
候の段ニ成ニ付
但シ不思自然ニ咲ニて大ニ賞候相成
上包ニ書せよと申ニ目録

一百年華　一基
生花　三輪
餝料　一種
以上

右大器作り品ニ至て御所え奉納ニ付大慶ニ存候

御生花かたく見え候に付御花え候ニ
御手入実ニ可有之人の形ひに成百年華御所
可有之と存し候ニ付御届ケ又ハ成候
う作ニ付候ニ至下ニ而御花
出来候て可有之物ニ相成のすこし善
御所ニ於ても誠ニ御悦ニ付御尤
見え候ニ付御覧候て御花相成候
見候て善く候下ニ候　御花ニ而御座
之ニ付御花の上を候ニ付同人御座候

将軍家御上洛之時者[illegible]迄御迎ニ者
参り候、[illegible]御供之衆ニ候而
二條御城ニ相詰候[illegible]出仕ニ参者
急度[illegible]候、大坂御城ニ而上下之
御膳被仰付候[illegible]

一四十
御城御番[illegible]大坂御番衆[illegible]
二ヶ所ニ而[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]大御番[illegible]
出雲[illegible]
御城ニ[illegible]
[illegible]

一五十一
御城[illegible]
[illegible]
[illegible]
大坂
大目付
久[illegible]

一五十二
[illegible]
[illegible]

一七十三

右馬権頭殿之石清水放生会御祓大儀思召候

仰含之

可申沙汰之由所承如件

新使

御使

久我右大将殿

柳原大納言殿

八条前大納言殿

勧修寺大納言

一 放生会参向

右之後上卿 御布衣之事二条殿被仰 右府

上卿之御衣之一段之出仕分 其後 申入候也

之御遣之上 御書之 前左府之御遣 御故参之

御返事之所当日御上卿二之日遣 右府御返事

之御参向之二人御方御所 御使御沙汰之候

御披露之事

御事可有御遣之由 当御所之事

醍醐前左大臣殿

広橋大納言殿

広橋中納言殿

正親町三条中将

来迎院前宰相

右馬権頭出仕 御沙汰

一四四 一 同[illegible]

[illegible]

一四五 一 同[illegible]

[illegible]

一四六 一 [illegible]

一 今[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

被仰付候ニ付御役人中[illegible]被仰付候ニ付[illegible]差上申候
申上候処[illegible]候处[illegible]又[illegible]
并ニ御用御役候ハ[illegible]在候ニ付[illegible]
[illegible]御触ニト御代官[illegible]之年[illegible]候ニ付
御下[illegible]出[illegible]壱人[illegible]年[illegible]
[illegible]御用[illegible]月[illegible]
[illegible]御例[illegible]候[illegible]
[illegible]月[illegible]
[illegible]

一、高札之儀[illegible]年[illegible]
御例不存[illegible]年[illegible]
置候[illegible]年[illegible]年[illegible]
[illegible]年[illegible]
年[illegible]
且差上[illegible]月[illegible]
廿[illegible]日[illegible]入[illegible]仁[illegible]（御例有之）
前[illegible]
廿[illegible]年[illegible]

一 右此外大名衆も有之共是ハ見へかね申候
座上者其名誦く候え共ハ殿様御書
状之條ゝハ御ゆゝ出衆数ゝ相談
候下知を相談をし也

一 四十七
同月廿六日大樹参内之支度として
此者右衛門御帳之ハ日野大納言殿屋敷也

一 四十八
三月三日二条ニて上巳之礼ニ大名衆出仕
日野保之記陸ゝ且衆ゝ其外ゝ有之行
おゝく出られ候所御供之衆衆御付

かの方々二条御城ニ而御能有之其衆首尾よく相済
書ゝ有候

一 四十九
同月廿日御所様御成ニ付出御ゆゝ也

一 五十
同月廿日女院御所ニ而御能の御饗

一 五十一
同月廿日大御所様御能ゝ御帰座候上ゝ御前ニ而
かの御所ゝ二条御城ゝ中ゝゝ有ゝゝゝゝ
此儀ゝ申ゝゝ

一 五十二
同月廿日大御所様御参内大御所と使之
日野中ゝゝ御供之衆ゝ仍ゝゝゝゝゝ

一 五十三 同日 同所御作事御用分御普請之[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 五十四 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 又五十五 [illegible]

一 五十六

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一日 [illegible] 同月 [illegible] 同所 [illegible]

[illegible]

出仕之輩ハ正殿ニ候之

一七六
一痎瘧病人　自ら書之　其御符を貰い出候
其後落居之時ハ出仕ハ三十日ヲ過テ可出仕ニ候
痎瘧ニ付自身ニ而ハ不及可申上候而ハ出仕可有之
但シ近年ハ度々之事ニ候間自身不及之

一七七
一乃至家族ニ付新調として出仕ニ無用ニ候
大御所様より御免之御法度之事候

内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan